

## 平成17年度倫理委員会 登録・調査小委員会報告

(平成16年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および

平成18年6月における登録施設名)

委員長 齊 藤 英 和

委員：石原 理, 久具宏司, 澤倫太郎, 竹下俊行, 阪埜浩司

## 目 次

1. はじめに
2. 対象と方法
3. 調査用紙
4. 体外受精・胚移植等の臨床実施成績
5. 平成18年6月における登録施設名
6. 謝辞
7. 文献

## 1. はじめに

日本産科婦人科学会では昭和61年以来、体外受精・胚移植等の生殖医学の臨床実施に関して登録報告制を敷き、平成元年度に設置された「生殖医学の登録に関する委員会」が報告内容の集計と分析を行い、これまでに平成元年度報告書(第1報)<sup>1)</sup>、平成2年度報告書(第2報)<sup>2)</sup>、平成3年度報告書(第3報)<sup>3)</sup>、および平成4年度報告書(第4報)<sup>4)</sup>の4回報告を行ってきた。平成5年度以降の生殖医学の登録・報告業務に関しては、会告に定められた施設登録ならびに包括的調査について「診療・研究に関する倫理委員会」がすべての登録施設を対象として行い、詳細な個別調査については「生殖・内分泌委員会」が登録施設の中の協力施設を対象として行い、それぞれの調査結果を学会誌上に公表してきた<sup>5)~8)</sup>。平成11年度の倫理委員会改組に伴い、倫理委員会は定款施行細則にある常置委員会となり、同時に下部組織として登録・調査小委員会が設置された。本小委員会では平成11年度以降、倫理委員会・登録・調査小委員会として、平成10年分~平成15年分について、

IVF-ET: in vitro fertilization and embryo transfer  
体外受精・胚移植

GIFT: gamete intrafallopian transfer 配偶子卵管内  
移植

ZIFT: zygote intrafallopian transfer 接合子卵管内  
移植  
の臨床実施成績の包括的調査結果を報告してきた<sup>19)~23)</sup>。

平成17年度も引き続き平成16年分(平成16年1月1日から同年12月31日までの期間)の体外受精・胚移植等の臨床実施成績について、全登録施設を対象に調査したので、ここに集計結果を報告する。また、平成18年6月30日現在の登録施設名を末尾に掲載する。

## 2. 対象と方法

平成16年1月1日から12月31日までに治療を開始したすべての症例を対象として、平成16年12月31日現在登録されている627施設に対し、平成17年9月1日付で調査用紙を送付し、回答を依頼した。

今回の調査内容は表1~7に示した通り、生殖補助医療(IVF-ET, GIFT, ZIFT等)ならびに非配偶者間人工授精(AID)の実績の有無、新鮮胚(卵)を用いた治療成績(顕微授精を除く)、顕微授精法(新鮮卵)を用いた治療成績、凍結融解胚(受精卵)を用いた治療成績(顕微授精によるものも含む)、凍結融解未受精卵を用いた治療成績、および非配偶者間人工授精(AID)の治療成績とした。内容はこれまでの倫理委員会の施設登録の項目に、生殖・内分泌委員会で行ってきた、死産数・子宮外妊娠・先天異常児の項目を加えて調査した。

なお、妊娠例の定義は胎嚢の確認された症例(いわゆる臨床妊娠)とし、妊娠反応陽性のみのいわゆる化学的妊娠例はこれに含まないこととしたが、子宮外妊娠では、胎嚢が確認されなくても手術で子宮外妊娠の確認、または2点のhCGの測定で上昇を認める場合も含めた。

## 3. 調査用紙

表1 生殖医学の臨床実施報告

- 表2 新鮮胚(卵)を用いた治療成績(顕微授精を除く)  
 表3 顕微授精法(新鮮卵)を用いた治療成績  
 表4 凍結融解胚(受精卵)を用いた治療成績(顕微授精によるものも含む)  
 表5 凍結融解未受精卵を用いた治療成績  
 表6 非配偶者間人工授精(AID)の治療成績  
 表7 先天異常児の調査(個別調査)

#### 4. 体外受精・胚移植等の臨床実施成績

- 表8 平成16年末の登録施設数と回答率  
 表9 新鮮胚(卵)を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数(顕微授精を除く)  
 表10 顕微授精法(新鮮卵)を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数  
 表11 凍結融解胚(受精卵)を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数(顕微授精によるものも含む)  
 表12 凍結融解未受精卵を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数  
 表13 体外受精・胚移植等治療周期数からみた施設数の分布  
 表14 新鮮胚(卵)を用いた治療成績(顕微授精を除く)  
 表15 顕微授精法(新鮮卵)を用いた治療成績  
 表16 凍結融解胚(受精卵)を用いた治療成績(顕微授精によるものも含む)  
 表17 凍結融解未受精卵を用いた治療成績  
 表18 非配偶者間人工授精(AID)の治療成績  
 表19 治療法別出生児数および累積出生児数  
 表20 先天異常児の調査

#### 5. 平成18年6月における登録施設名

- 表21 学会見解に基づく諸登録施設(平成18年6月30日現在)  
 表22 非配偶者間人工授精の臨床実施に関する登録施設(平成18年6月30日現在)

#### 6. 謝 辞

本報告は、回答をお寄せいただいた各登録施設のご理解とご協力によるものであり、ここに深謝いたします。

#### 7. 文 献

1. 日本産科婦人科学会理事会内委員会. 生殖医学の登録に関する委員会報告. 日産婦誌 1990;42:393—397
2. 日本産科婦人科学会理事会内委員会. 平成2年度生殖医学の登録に関する委員会報告(平成元年分の臨床実施成績と昭和63年末までの治療により出生した児の調査成績). 日産婦誌 1991;43:470—476
3. 日本産科婦人科学会理事会内委員会. 平成3年度生殖医学の登録に関する委員会報告(第3報)(平成2年分の臨床実施成績, 平成元年分の治療による出生児の追

跡調査成績). 日産婦誌 1992;44:499—511

4. 日本産科婦人科学会理事会内委員会. 平成4年度生殖医学の登録に関する委員会報告(第4報)(平成3年分の臨床実施成績, 平成2年分の治療による出生児の追跡調査成績, 全追跡調査児の総合解析成績). 日産婦誌 1993;45:397—410
5. 日本産科婦人科学会理事会内委員会. 平成5年度診療・研究に関する倫理委員会報告(平成4年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績). 日産婦誌 1994;46:929—933
6. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. [平成5年度生殖医学登録報告(第5報):平成4年分の臨床実施成績]. 日産婦誌 1994;46:1269—1277
7. 日本産科婦人科学会理事会内委員会. 平成6年度診療・研究に関する倫理委員会報告(平成5年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績). 日産婦誌 1995;47:444—448
8. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. [平成5年度生殖医学登録報告(第5報・続報):平成4年(1992年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 1995;47:577—592
9. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. [平成6年度生殖医学登録報告(第6報):平成5年(1993年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 1995;47:1199—1218
10. 日本産科婦人科学会理事会内委員会報告. 平成7年度診療・研究に関する倫理委員会報告(平成6年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績). 日産婦誌 1996;48:365—371
11. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. [平成7年度生殖医学登録報告(第7報):平成6年(1994年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 1996;48:1182—1196
12. 日本産科婦人科学会理事会内委員会報告. 平成8年度診療・研究に関する倫理委員会報告(平成7年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績). 日産婦誌 1997;49:697—702
13. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. [平成8年度生殖医学登録報告(第8報):平成7年(1995年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 1997;49:1143—1161
14. 日本産科婦人科学会理事会内委員会報告. 平成9年度診療・研究に関する倫理委員会報告(平成8年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および平成10年3月における登録施設名). 日産婦誌 1998;50:267—277
15. 日本産科婦人科学会理事会内委員会報告. 平成10年度診療・研究に関する倫理委員会報告(平成9年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および平成11年3月における登録施設名). 日産婦誌 1999;51:361—394
16. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. 平成9年度生殖医学登録報告(第9報)[平成8年(1996年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 1999;51:

803—822

- 17. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. 平成10年度生殖医学登録報告(第10報)[平成9年(1997年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 1999;51:1098—1120
- 18. 日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会報告. 平成11年度生殖医学登録報告(第11報)[平成10年(1998年)分の臨床実施成績—国際統計報告書]. 日産婦誌 2001;53:665—682
- 19. 日本産科婦人科学会平成11年度倫理委員会・登録・調査小委員会報告(平成10年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および平成12年3月における登録施設名). 日産婦誌 2000;52:962—987
- 20. 日本産科婦人科学会平成12年度倫理委員会・登録・調査小委員会報告(平成11年分の体外受精・胚移植等の

臨床実施成績および平成13年3月における登録施設名). 日産婦誌 2001;53:1462—1493

- 21. 日本産科婦人科学会平成13・14年度倫理委員会・登録・調査小委員会報告(平成12・13年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および平成16年3月における登録施設名). 日産婦誌 2003;55:1272—1287
- 22. 日本産科婦人科学会平成15年度倫理委員会・登録・調査小委員会報告(平成14年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および平成16年10月における登録施設名). 日産婦誌 2005;57:118—146
- 23. 日本産科婦人科学会平成16年度倫理委員会・登録・調査小委員会報告(平成15年分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および平成17年6月における登録施設名). 日産婦誌 2005;57:1601—1629

表1 平成16年分 生殖医学の臨床実施報告  
(日本産科婦人科学会 倫理委員会 登録・調査小委員会)

---

登録施設名 \_\_\_\_\_

報告者名 \_\_\_\_\_ 郵便番号 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

I. 生殖医療 (IVF-ET, GIFT, ZIFT 等) の実績の有無  
(平成16年1月1日～平成16年12月31日の期間)

	実施した
	実施しなかった

II. 非配偶者間人工授精 (AID) の実績の有無

	実施した
	実施しなかった

III. 実施総括表  
実施した手技について、「表1」「表2」「表3」「表4」「表5」に記入して下さい。

注1: 治療周期総数	●平成16年1月1日から同年12月31日の間に治療を開始した症例に対する延べ治療周期数の計
注2: 妊娠数	●この場合、妊娠とは胎嚢が確認された症例を指し、妊娠反応のみ陽性の症例は含まない ●子宮外妊娠では、胎嚢が確認されなくても手術で子宮外妊娠の確認、または2点のhCGの測定で上昇を認める場合を含む
注3: 生産分娩数	●多胎のうち1児でも生産したものは生産分娩とする
注4: 死産分娩数	●多胎のうちすべての児が死産したものとす
注5: 出生児数	●上記の治療によって出生(生産)した児の総数
注6: 子宮外妊娠数	●子宮内外同時妊娠のうち22週未満の流産は「子宮外妊娠」とし、流産とはしない。 ●22週以後は1児でも生産したものは生産分娩とし、すべての児が死産したものは死産分娩とする。
注7: 妊娠後経過不明数	●妊娠が確認されたが、妊娠経過を追跡できず、その帰結が不明であるもの
注8: AID 周期総数	●平成16年1月1日から同年12月31日の間に授精を行った症例に対する延べ授精周期数の計

---

表2 新鮮胚(卵)を用いた治療成績(顕微授精を除く)

	IVF-ET	GIFT	ZIFT	その他:具体名記入 ( )
患者総数				
治療周期総数 (注1)				
採卵総回数				
移植総回数				
妊娠数 (注2)				
流産数				
子宮外妊娠数 (注6)				
多胎妊娠総数				
双胎				
三胎				
四胎				
五胎以上				
生産分娩数 (注3)(注6)				
死産分娩数 (注4)(注6)				
出生児数 (注5)				
妊娠後経過不明数 (注7)				

\* 「妊娠数 = 流産数 + 子宮外妊娠数 + 生産分娩数 + 死産分娩数 + 妊娠後経過不明数」となります

表3 顕微授精法(新鮮卵)を用いた治療成績

	子宮腔内移植		卵管内移植		その他:具体名記入 ( )
	射精精子	その他の採精精子	射精精子	その他の採精精子	
患者総数					
治療周期総数 (注1)					
採卵総回数					
移植総回数					
妊娠数 (注2)					
流産数					
子宮外妊娠数 (注6)					
多胎妊娠総数					
双胎					
三胎					
四胎					
五胎以上					
生産分娩数 (注3)(注6)					
死産分娩数 (注4)(注6)					
出生児数 (注5)					
妊娠後経過不明数 (注7)					

\* 「妊娠数 = 流産数 + 子宮外妊娠数 + 生産分娩数 + 死産分娩数 + 妊娠後経過不明数」となります

表4 凍結融解胚（受精卵）を用いた治療成績〔顕微授精によるものも含む〕

	子宮腔内移植	卵管内移植
患者総数		
治療周期総数 (注1)		
移植総回数		
妊娠数 (注2)		
流産数		
子宮外妊娠数 (注6)		
多胎妊娠総数		
双胎		
三胎		
四胎		
五胎以上		
生産分娩数 (注3)(注6)		
死産分娩数 (注4)(注6)		
出生児数 (注5)		
妊娠後経過不明数 (注7)		

\* 「妊娠数 = 流産数 + 子宮外妊娠数 + 生産分娩数 + 死産分娩数 + 妊娠後経過不明数」となります

表5 凍結融解未受精卵を用いた治療成績

	顕微授精				その他：具体名記入 ( )
	子宮腔内移植		卵管内移植		
	射精精子	その他の採精精子	射精精子	その他の採精精子	
患者総数					
治療周期総数 (注1)					
移植総回数					
妊娠数 (注2)					
流産数					
子宮外妊娠数 (注6)					
多胎妊娠総数					
双胎					
三胎					
四胎					
五胎以上					
生産分娩数 (注3)(注6)					
死産分娩数 (注4)(注6)					
出生児数 (注5)					
妊娠後経過不明数 (注7)					

\* 「妊娠数 = 流産数 + 子宮外妊娠数 + 生産分娩数 + 死産分娩数 + 妊娠後経過不明数」となります

表6 非配偶者間人工授精 (AID) の治療成績

患者総数	
AID 周期総数 (注6)	
妊娠数 (注2)	
流産数	
子宮外妊娠数 (注6)	
生産分娩数 (注3)(注6)	
死産分娩数 (注4)(注6)	
出生児数 (注5)	
妊娠後経過不明数 (注7)	

\* 「妊娠数 = 流産数 + 子宮外妊娠数 + 生産分娩数 + 死産分娩数 + 妊娠後経過不明数」となります

表7 先天異常児の調査 (個別調査)

- 母体年齢については今回の不妊治療時の年齢。
- 治療方法・Assisted hatching・胚盤胞移植・胎児数・児の性・早期新生児予後については該当する項目に○印をつけてください。
- 妊娠予後については該当する項目に○印と週数を記入してください。
- 出産年月日、または人工流産日については該当事象が起った年月日を記入してください。
- 先天異常名・染色体異常名についてはその診断名を記入してください。

施設患者識別番号	
母体年齢	
治療方法	IVF ・ GIFT ・ 顕微授精法 ・ 重複した技術 ・ 凍結胚(卵) ・ その他( )
Assisted hatching	有 ・ 無
胚盤胞移植	有 ・ 無
妊娠の予後	生産 ( 週) ・ 死産 ( 週) ・ 自然流産 ( 週) ・ 人工流産 ( 週)
出産年月日、 または人工流産日	
胎児数	単胎 ・ 双胎 ・ 三胎 ・ 四胎
児の性	男 ・ 女 ・ 不明
早期新生児予後	死亡 ( 有 ・ 無 ) ・ 不明
先天異常名・ 染色体異常名	

表8 平成16年末の登録施設数と回答率

登録施設数	627
回答施設数	620
回答率	98.9%
実施施設数	547
実施しなかった施設数	73
非配偶者間人工授精実施施設	17

表9 新鮮胚(卵)を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数(顕微授精を除く)(平成16年)

	IVF-ET	GIFT	ZIFT	その他
実施施設数	543	8	3	6
妊娠例報告施設数	478	3	2	3
実施施設数に対する割合	88.0%	37.5%	66.7%	50.0%
生産分娩例報告施設数	442	2	1	2
実施施設数に対する割合	81.4%	25.0%	33.3%	33.3%

表10 顕微授精法(新鮮卵)を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数(平成16年)

	子宮腔内移植		卵管内移植		その他
	射精精子	その他の採精精子	射精精子	その他の採精精子	
実施施設数	342	169	12	2	8
妊娠例報告施設数	296	113	3	1	5
実施施設数に対する割合	86.5%	66.9%	25.0%	50.0%	62.5%
生産分娩例報告施設数	280	98	2	1	5
実施施設数に対する割合	81.9%	58.0%	16.7%	50.0%	62.5%

表11 凍結融解胚(受精卵)を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数(顕微授精によるものも含む)(平成16年)

	子宮腔内移植	卵管内移植
実施施設数	387	3
妊娠例報告施設数	297	1
実施施設数に対する割合	76.7%	33.3%
生産分娩例報告施設数	275	1
実施施設数に対する割合	71.1%	33.3%

表 12 凍結融解未受精卵を用いた治療による妊娠・分娩例報告施設数

	子宮腔内移植		卵管内移植	
	射精精子	その他の採精精子	射精精子	その他の採精精子
実施施設数	10	6	0	0
妊娠例報告施設数	3	2	0	0
実施施設数に対する割合	30.0%	33.3%		
生産分娩例報告施設数	2	2	0	0
実施施設数に対する割合	20.0%	33.3%		

表 13 体外受精・胚移植等治療周期数からみた施設数の分布〔平成 16 年〕

治療周期	新鮮胚(卵)	顕微授精(新鮮卵)	凍結融解胚	凍結融解未受精卵
1～50	337	167	270	13
51～100	98	63	57	1
101～150	40	34	21	0
151～200	31	24	12	0
201～250	11	18	9	0
251～300	8	6	4	0
301～350	3	5	3	0
351～400	2	4	3	0
401～450	3	3	2	0
451～500	4	2	1	0
501～550	2	1	1	0
551～600	0	1	1	0
601～650	2	1	0	0
651～700	0	1	1	0
701以上	3	12	2	0
合計	544	342	387	14

表 14 新鮮胚（卵）を用いた治療成績（顕微授精を除く）〔平成 16 年〕

	IVF-ET	GIFT	ZIFT	その他	合計
患者総数	29,023	76	19	89	29,207
治療周期総数	41,328	100	20	171	41,619
採卵総回数	39,397	100	18	141	39,656
採卵総回数 / 治療周期総数	95.3%	100.0%	90.0%	82.5%	95.3%
移植総回数	28,858	100	18	114	29,090
妊娠数	8,514	8	2	18	8,542
移植当たり妊娠率	29.5%	8.0%	11.1%	15.8%	29.4%
採卵当たり妊娠率	21.6%	8.0%	11.1%	12.8%	21.5%
流産数	1,815	1	1	5	1,822
妊娠当たり流産率	21.3%	12.5%	50.0%	27.8%	21.3%
子宮外妊娠数	184	0	0	1	185
多胎妊娠数	1,491	2	0	3	1,496
双胎	1,382	2	0	3	1,387
三胎	107	0	0	0	107
四胎	2	0	0	0	2
五胎以上	0	0	0	0	0
妊娠当たり多胎率	17.5%	25.0%	0.0%	16.7%	17.5%
生産分娩数	5,558	7	1	11	5,577
移植当たり生産率	19.3%	7.0%	5.6%	9.6%	19.2%
死産分娩数	45	0	0	0	45
出生児数	6,686	9	1	13	6,709
妊娠後経過不明数	912	0	0	1	913

表 15 顕微授精法（新鮮卵）を用いた治療成績〔平成 16 年〕

	子宮腔内移植		卵管内移植		その他	合計
	射精精子	その他の採精精子	射精精子	その他の採精精子		
患者総数	26,835	2,070	214	13	450	29,582
治療周期総数	40,548	3,019	266	10	855	44,698
採卵総回数	39,822	2,895	252	10	649	43,628
採卵総回数 / 治療周期総数	98.2%	95.9%	94.7%	100.0%	75.9%	97.6%
移植総回数	27,172	2,133	242	10	389	29,946
妊娠数	7,075	538	58	3	94	7,768
移植当たり妊娠率	26.0%	25.2%	24.0%	30.0%	24.2%	25.9%
採卵当たり妊娠率	17.8%	18.6%	23.0%	30.0%	14.5%	17.8%
流産数	1,574	103	21	1	19	1,718
妊娠当たり流産率	22.2%	19.1%	36.2%	33.3%	20.2%	22.1%
子宮外妊娠数	119	9	2	0	3	133
多胎妊娠数	1,112	81	10	0	9	1,212
双胎	1,047	76	10	0	9	1,142
三胎	64	5	0	0	0	69
四胎	1	0	0	0	0	1
五胎以上	0	0	0	0	0	0
妊娠当たり多胎率	15.7%	15.1%	17.2%	0.0%	9.6%	15.6%
生産分娩数	4,535	379	34	2	54	5,004
移植当たり生産率	16.7%	17.8%	14.0%	20.0%	13.9%	16.7%
死産分娩数	31	1	0	0	0	35
出生児数	5,373	439	44	2	63	5,921
妊娠後経過不明数	813	46	1	0	18	878

表 16 凍結融解胚（受精卵）を用いた治療成績（顕微授精によるものを含む）〔平成 16 年〕

	子宮腔内移植	卵管内移植	合計
患者総数	19,719	18	19,737
治療周期総数	30,174	19	30,193
移植総回数	24,323	19	24,342
妊娠数	7,594	1	7,595
移植当たり妊娠率	31.2%	5.3%	31.2%
流産数	1,766	0	1,766
妊娠当たり流産率	23.3%	0.0%	23.3%
子宮外妊娠数	97	0	97
多胎妊娠数	902	1	903
双胎	862	0	862
三胎	40	1	41
四胎	0	0	0
五胎以上	0	0	0
妊娠当たり多胎率	11.9%	100.0%	11.9%
生産分娩数	4,836	1	4,837
移植当たり生産率	19.9%	5.3%	19.9%
死産分娩数	18	0	18
出生児数	5,527	2	5,529
妊娠後経過不明数	877	0	877

表 17 凍結融解未受精卵を用いた治療成績〔平成 16 年〕

	顕微授精					合計
	子宮腔内移植		卵管内移植		その他	
	射精精子	その他の採精精子	射精精子	その他の採精精子		
患者総数	71	8	0	0	0	79
治療周期総数	83	11	0	0	0	94
移植総回数	74	6	0	0	0	80
妊娠数	9	2	0	0	0	11
移植当たり妊娠率	12.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.8%
流産数	1	0	0	0	0	1
妊娠当たり流産率	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
子宮外妊娠数	0	0	0	0	0	0
多胎妊娠数	1	0	0	0	0	1
双胎	1	0	0	0	0	1
三胎	0	0	0	0	0	0
四胎	0	0	0	0	0	0
五胎以上	0	0	0	0	0	0
妊娠当たり多胎率	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
生産分娩数	6	2	0	0	0	8
移植当たり生産率	8.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
死産分娩数	0	0	0	0	0	0
出生児数	7	2	0	0	0	9
妊娠後経過不明数	2	0	0	0	0	2

表18 非配偶者間人工授精(AID)の  
治療成績〔平成16年〕

患者総数	1,498
AID周期総数	3,994
妊娠数	222
流産数	25
子宮外妊娠数	5
生産分娩数	124
死産分娩数	0
出生児数	129
妊娠後経過不明数	68

表19 治療法別出生児数および累積出生児数〔平成16年〕

	治療周期総数	出生児数	累積出生児数
新鮮胚(卵)を用いた治療	41,619	6,709	69,005
凍結胚(卵)を用いた治療*	30,287	5,538	23,652
顕微授精を用いた治療	44,698	5,921	43,100
合計	116,604	18,168	135,757

\*凍結融解胚を用いた治療成績と凍結融解未受精卵を用いた治療成績の合計